

令和3年度 第2回秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会（書面開催）
のご意見について

○遠藤委員

除雪が困難な世帯に対しての事業を検討していただきたい。

（事務局回答）

個人の方への除雪対応については、行政だけでの対応は難しいところです。地域の支えあい活動の一環として協議していく必要があると考えます。

なお、区社協では資料9/21頁の13で報告させていただいた「歳末たすけあい助成事業」で地域住民が主体となって実施する除雪支援活動に対しての助成を行っております。引き続き周知を行ってまいります。

○古川委員

講座、交流会助成事業など、色々計画されたにも係わらずコロナウイルス感染拡大の中、計画通りに開催・実施できなかつたことがとても残念でした。このように講座、交流会助成事業等があるという情報を市（区）の皆さんが得やすい方法があれば良いと思います。

（事務局回答）

区民の皆さまが情報を得やすいように、今後も広報等で情報発信を行ってまいります。

○星田委員

コロナ感染拡大防止の中でも、沢山の事業内容で取組状況が確實実施できているのは素晴らしいと思います。今後は増々後期高齢者が増えると考えられます。フレイル予防事業は細やかに実施して欲しいです。アキハ子育てサポート事業の子育てサポーター訪問事業には期待したいところです。福祉懇談会の内容を具体的に聞いてみたいと思います。

（事務局回答）

今後、推進委員会の中で、福祉懇談会のご意見につきましても情報共有できるようすすめていきたいと思っています。

○その他のご意見

- ・これからも住民目線にたった施策をお願いします。
- ・地域での活動は、連携が大切であり、横のつながりをしっかりしないと地域の隅々までの活動が困難である。

いただいたご意見を、区役所、社協の活動の推進の中で反映できるよう取り組んでいきたいと思っています。